



みたけさん

第7号

令和6年7月1日発行

発行 三嶽神社

編集 権禰宜 新山敏彦



石鳥居 石鳥居の社額をよく見ると龍神さまが描かれています。

伊勢神宮と式年遷宮

三嶽神社宮司 新山敏春

1300年にわたり繰り返されてきた伊勢神宮の式年遷宮は、20年に一度造り替えられる常に瑞々しいご社殿で、永遠に変わらないお祭りが行われることに大きな意義があります。平成25年には62回目が古式のままに行われました。

式年遷宮は御聴許と呼ばれる天皇陛下の許可を受けてその準備が進められるのですが、第63回式年遷宮は、令和15年(2033年)にご神体を新宮にお遷しする遷御(せんぎよ)が行われる予定で、そのための祭典が早くも来年から執行されます。

新たに造り替えられるのはご正宮(ごしょうぐう=一般の神社で言う本殿)だけではなく、125の摂社や末社の社殿、神々のご装束やご神宝714種、1576点、そして五十鈴川の上を内宮に通ずる宇治橋までも新調されることとなります。

伊勢の神宮は皇室のご祖先にあたる天照大御神(あまてらすおおみかみ)が祀られ、日本の総氏神として篤い信仰をうけています。江戸時代には『弥次喜多道中』でおなじみの『東海道中膝栗毛』の影響もあり、「一生に一度はお伊勢参り」と謂われるほど、多くの人々が伊勢神宮を訪れたそうです。

当時は何日もかけて徒歩で向かったわけですが、今では花巻から空路を利用すると5時間ほどで行くことができます。また、内宮付近のおはらい町や外宮前エリアはお洒落な飲食店やお土産屋が立ち並び、観光スポットとして多くの人が訪れています。皆さんも「一生に一度は…」と謂われた伊勢神宮へ出かけてみませんか。

三嶽神社の境内散策

本宮



三嶽神社は、平安初期の現東宮野目に「三姫休みの地本宮と神存せり」という謂れがあり、南北朝時代に現境内の丘の上に神さまをお遷ししたと伝えられています。現在は明治時代に造られた本殿に祀られていますが、社殿東側の階段を上がり本宮に向かうと、社殿前とは異なる凛とした空気が感じられます。500年以上もの間三嶽の大神さまが祀られていた本宮もお参りしてみては如何でしょうか。



ランドセル清祓いのご案内

小学校の入学とともにお子さまが背負うランドセル。最近は幼稚園や保育園の年長時7月から9月ごろ、人気のメーカー・種類は6月ごろに予約され、早ければ年内にお手元に届くようです。来年ご入学を迎えるお子さまのランドセルはいつごろお求めになられますか？

三嶽神社では小学校入学を控えたお子さまを対象に、「ランドセル清祓い」を行います。毎日背負う新しいランドセルをお祓いして、6年間の小学校生活の充実と学業成就・交通安全を祈願致します。

特に期間は設けておりませんので、お時間のありますときに、是非ご家族の皆さままでご参拝いただき、6年に亘る小学校生活の無事をお祈り下さい。



お問合せ 三嶽神社社務所

090-8788-5530（三嶽神社権禰宜 新山敏彦）

予告

今年も暑い夏がやってきます。30℃を超える中での参拝は、徒步で参拝に来られる方は勿論、エアコンの効いた車内を出て社殿に向かわれる方も躊躇してしまいます。そこで今年は暑さ対策として参道にミストシャワーの設置を検討しています。設置しましたら是非涼みにいらして下さいね。



夏越大祓い執行・境内清掃御礼

去る6月30日に夏越大祓いが執り行われ、各地域から選出されている当社総代が、氏子各位を代表して半年間の罪・穢れを祓い清めるとともに、7月以降のご多幸をお祈りしました。またこれに先立ち、三岳・西中両地区の皆さまにより、境内及び殿内の清掃を行っていただきました。お忙しい中のご奉仕洵に有難うございました。

例大祭奉納演芸

出演者募集

9月12日（木）午前10時から例大祭が執り行われます。そして夕刻には今年も神賑わい行事として奉納演芸会を行うこととしており、出演者を募集します。

出演希望の方は神社（社務所）又は地域総代に、①代表者名、②出演人数、③演目、④内容とアピールポイントをお知らせ下さい。

沢山のご出演、お待ちしています！

季節のご朱印

ご好評をいただいております「季節のご朱印」。7月は七夕、8月は花火です。

日本の文化や伝統行事をあしらったご朱印ですので、参拝の際に是非持受をお申し出下さい。



7月



8月